

日中同形語の品詞の違いによる誤用について —中国人の日本語学習者を対象として—

何 龍 (愛知淑徳大学大学院グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科) †

Misuse of Japanese-Chinese Homographs Differing in Part of Speech: The Case of Chinese Speakers Learning Japanese

He Long(Aichi Shukutoku University, Graduate School of Global Culture and Communication)

要旨

日中同形語の学習において、中国人日本語学習者は品詞性の違いにより、母語からどのような影響を受けるのかを明らかにするため、コーパスにより例文検索を行う。その結果、中国人日本語学習者は母語に影響され誤用を起こす可能性のあることが判明した。そして、学習者作文コーパスを利用し、誤用の可能性を実証できた。本稿は関西大学が編集した『中日同形語小辞典』と曹櫻が編集した『日中常用同形語用法・作文辞典』に重なる 406 語の日中同形語を対象とし、国立国語研究所が開発した『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と“教育部语言文字应用研究所”が開発した《国家语委现代汉语平衡语料库》の例文を用いて、研究対象の品詞性の実態を調査した。さらに、「ひのき」プロジェクトが開発した『なたね』と「自然言語処理の技術を利用したタグ付き学習者作文コーパスの開発」科研グループによる『日本語学習者作文コーパス』の例文を用いて分析を行った。

1. はじめに

日本語と中国語は同じ漢字¹を使用することで、日本語においても、中国語においても、大量の日中同形語が存在している。一見、同じ漢字表記の日中同形語は中国人の日本語学習者にとって、簡単だと思いがちである。しかし、王 (2014) の研究によると、中国人の日本語学習者は日中同形語の品詞の違いによる誤用のあることが分かった。王 (2014) が事実の発見に止まった、そのような現象の原因に言及していなかった。本稿は関西大学中国語教材研究会 (2011) が編集した『中日同形語小辞典』と曹 (2009) が編集した『日中常用同形語用法・作文辞典』で重なる 406 語²の日中同形語を対象とし、コーパスによる検索の研究手法を用い、中国人の日本語学習者が日中同形語の違う品詞による誤用について検討する。

2. 先行研究

2.1 日中同形語の品詞に関する先行研究-

2.1.1 侯 (1997) の研究

侯 (1997) は「中国人の日本語学習者が日中同形語を使用する際に、意味だけに注目し、品詞に無視してしまう傾向がある」と指摘している。そして、侯 (1997) は品詞の違いに

† [tell_helong_1988\[a\]yahoo.co.jp](mailto:tell_helong_1988[a]yahoo.co.jp)

¹ 本稿では、日中同形語は元の漢字表記が同じであれば、同じ漢字表記と見なす。

² 『中日同形語小辞典』は 150 語の日中同形語を収録し、『日中常用同形語用法・作文辞典』は 280 語の日中同形語を収録した。ここで断っておきたいのは『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』で重なっている 24 語については『中日同形語小辞典』の記載に従う。よって、本稿の研究対象になる日中同形語は 406 語となった。

基づいて、日中同形語を以下の8つのタイプに分けた。

表1 侯 (1997) の品詞パターン

タイプ	中国語	日本語
1	動詞	名詞
2	名詞	名詞、動詞
3	名詞、形容詞	名詞、動詞
4	形容詞、副詞	名詞
5	形容詞、副詞	動詞
6	他動詞	自動詞
7	他自動詞	他動詞
8	副詞	タルト形容動詞

しかし、侯 (1997) は日中同形語の品詞を基に分類したが、その明確な基準に言及していなかった。そして、日中同形語が数多くあるのは言うまでもない。大量の日中同形語をただ8つの品詞タイプに収めるのは難しいと思われる。

2.1.2 張 (2008、2009) の研究

張 (2008、2009) は国際交流基金・財団法人日本国際教育協会に収録された1級～4級の語彙から日中同形語を抽出した。そして、表2のように、張 (2008、2009) は抽出した日中同形語を以下の9つのタイプに分けた。

表2 張 (2008、2009) の品詞パターン

タイプ	中国語	日本語
1	動詞、形容詞	形容詞
2	動詞、名詞	名詞
3	形容詞、動詞、名詞	名詞、動詞
4	形容詞、名詞	名詞
5	名詞	動詞、名詞
6	名詞	副詞、名詞
7	副詞	動詞
8	副詞	形容詞
9	副詞	名詞

しかし、張 (2008、2009) はタイプごとに1例しか挙げていない、決して多いといえない。そして、張 (2008、2009) は研究で扱われる「上級学習者」の具体的な日本語能力について言及していなかった。さらに、上記の各タイプを見ると分かるように、張 (2008、2009) は動詞の自他性について、検討していなかった。よって、結果が一般化できるのは難しいだろう。

2.1.3 熊、玉岡 (2014) の研究

熊、玉岡 (2014) は独自のデータベースで、二字の日中同形語を検索した結果、1383語の二字日中同形語が得られた。そして、熊、玉岡 (2014) はその1383語の二字日中同形語を分析し、その対応関係について検討した。その結果、五つのタイプが得られた。

表3 熊、玉岡 (2014) の品詞パターン

タイプ	特徴	語数 (比例)
1	日中両言語で品詞が同じもの。	802(58%)
2	日中両言語で同じ品詞もあるが、日本語に独自の品詞があるもの。	399(29%)
3	日中両言語で品詞が全く違うもの。	79(5%)
4	日中両言語で同じ品詞もあるが、中国語に独自の品詞があるもの。	67(5%)
5	日中両言語で同じ品詞もあるが、中国語と日本語それぞれに独自の品詞があるもの。	36(3%)

2.2 先行研究の問題点

先行研究を調べた結果、日中同形語の品詞についての研究は少ない。そして、そのような先行研究は基本的に辞書の記載に基づいて、日中同形語の品詞を判断した。しかし辞書に載っている品詞情報は日中同形語が実際に使われている品詞を反映しているかどうかは不明である。最近、大規模コーパスが続々と構築されている。本稿は大規模コーパスに収録した品詞情報を用いて、日中同形語が実際にどのような品詞で使われるのかについて研究する。さらに、日本語学習者作文コーパスに収録した用例文で対照分析を行う。

3. 本論

3.1 本稿の目的

本稿は日中同形語の品詞の違いに注目し、その目的は以下の2つである。

1. コーパスによる検索の研究手法で、コーパスに付加している形態素解析情報に基づいて、日中同形語の実際品詞³を判定する。
2. 実際に違う品詞を持つ日中同形語に対し、日本語学習者コーパスの用例文を用いて対照分析を行う。

3.2 研究対象

本稿は関西大学中国語教材研究会 (2011) が編集した『中日同形語小辞典』と曹 (2009) が編集した『日中常用同形語用法・作文辞典』に重なる 406 語の日中同形語を対象として、検討する予定である。

曹 (2009) が編集した『日中常用同形語用法・作文辞典』は 150 語の日中同形語を収録している。曹 (2009) は日中両言語において、同じ漢字で表しているが誤解されやすい語を集め、日本語と中国語ではどう異なるのかを用例文を用いて説明した。さらに、曹 (2009) は多数の常用同形語のうち実用的な常用同形語を中心に収録している。

関西大学中国語教材研究会 (2011) が編集した『中日同形語小辞典』は HSK 語彙甲級詞⁴の中にある日中同形語 324 語のうち 280 語を収録している。『中日同形語小辞典』はただある言葉の日中異同を調べるだけでなく、語の意味用法の全般について、注意すべき点や

³ 本稿はコーパスに収録した形態素解析情報による日中同形語の品詞情報を「実際品詞」にまとめる。

⁴ 『HSK 語彙大綱』に 8822 個の単語が収集されている。レベルによって、「甲」・「乙」・「丙」・「丁」の四つの級に分けられている。中には、甲級語彙 1033 語、乙級語彙 2018 語、丙級語彙 2202 語、丁級語彙 3569 語がある。旧 HSK の試験の出題は基礎と初中等は甲・乙・丙級語彙から、高等は丁級語彙までそれぞれの比率を考えて語彙が選ばれる。

語の組み合わせ、類義語群などもできるだけ収録している。

先行研究を調べた結果、中国人の日本語学習者は母語から意味・イメージ・コロケーション・連語形式・品詞などさまざまな影響を受けることが分かった。本稿は「日中同形語の品詞の違いによる誤用」に焦点を当てて研究するため、母語による他の影響を最小限に抑えなければならない。よって、本稿は以下の基準に従い、研究対象を絞ることにする。

- 1.日本語コーパスにおいても、中国語コーパスにおいても、使用頻度が 50 回以上のものに限定する。
- 2.文化庁(1978)が収録した S 語(日中両国語における意味が同じか、または、きわめて近いもの)に属するものに限定する。
- 3.『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』は収録した日本語の品詞と中国語の品詞が違うものに限定する。
- 4.二字の日中同形語に限定する。

3.3 扱うコーパス

研究を進めるため、本稿は国立国語研究所が 2011 年に公開した BCCWJ⁵と中国教育部・言文字・用研究所が 2009 年に公開した《语料库》⁶を使用することにする。

BCCWJ は収録した語数が約 1 億語⁷である。この中には書籍、雑誌、新聞、白書、教科書、広報紙、Web の掲示板、ブログなど多様な日本語が含まれている。サンプルデータは公開されている各種出版データや東京都下の公共図書館の蔵書データを母集団として、そこから無作為に抽出されたものである。

《语料库》は収録した語数が 12,842,116 語である。この中には“人文与社会科学类”、“自然科学类”と“综合类”多様な中国語が含まれている。サンプルデータは主に教材、書籍、新聞、応用文から無作為に抽出されたものである。現在、日本からもアクセスできるようになった。

一方、日本語学習者コーパスを調べたところ、主に、日本語学習者話し言葉コーパスと日本語学習者作文コーパスがあることが分かった。ここで断っておきたいのは本稿が書き言葉に注目するため、日本語学習者作文コーパスを用いて検討する。日本語学習者話し言葉コーパスは研究範囲から外す。よって、本稿は東京工業大学留学生センターが開発した「なたね」⁸という学習者コーパスと「自然言語処理の技術を利用したタグ付き学習者作文コーパスの開発」科研グループが開発した「作文コーパス」⁹を利用する。

「なたね」は日本語学習者から収集した作文に対して日本語教師による添削を行った誤用タグを付与した学習者作文コーパスである。「なたね」は 192 名の日本語学習者¹⁰による 285 件の作文を収録した。

「作文コーパス」は日本語学習者の作文データをコーパス化したものである。初級から

⁵ 本稿は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を BCCWJ と称する。以下は同様。

⁶ 本稿は《国家语现代汉语语料库》を《语料库》と称する。以下は同様。

⁷ 本稿は書き言葉に焦点をあてて研究するため、「yahoo 知恵袋」、「yahoo ブログ」と「国会会議録」という話し言葉を含む可能性が高いジャンルを研究対象から外す。よって、BCCWJ の総語数は 79,357,975 語となった。

⁸ 本稿は『日本語学習者コーパス「なたね」』を「なたね」と称する。以下は同様。

⁹ 本稿は『日本語学習者作文コーパス』を「作文コーパス」と称する。以下は同様。

¹⁰ 本稿は日中同形語に焦点を当てるため、学習者の母語は中国語に限定する。よって、「なたね」は 115 名の中国人の日本語学習者による 152 件の作文を収録した。

上級の日本語学習者 304 名¹¹の作文データが収録されている。作文のテーマは「外国語が上手になる方法について」¹² (192 名分) と「インターネット時代に新聞や雑誌は必要か」¹³ (112 名分) である。

3.4 分析の手順

本稿は主に以下の手順で研究対象となる日中同形語について分析を行う。

1. 『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』が収録した 406 語の日中同形語の品詞情報を収集する。そして、収集した品詞情報に基づいて、日中両言語において違う品詞を持つ日中同形語をまとめる。
2. BCCWJ と《语料庫》の形態素解析情報を参照し、手順 1 でまとめた違う品詞を持つ日中同形語の実際品詞情報を収集する。そして、収集した実際品詞情報に基づいて、日中同形語の実際品詞を判断する。
3. 手順 2 で実際品詞が違う日中同形語に対し、「なたね」と「作文コーパス」の用例文を用いて、対照分析を行う。

3.5 結果の分析

3.5.1 結果の概要

前にも述べた手順に従い、本稿は『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』が収録した 406 語の日中同形語に絞ることにした。その結果、違う実際品詞を持つ日中同形語の 38 語を得た。それを表 4 にまとめた。そして、検討しやすいように、その 38 語の日中同形語の実際品詞をまとめた結果、17 個の実際品詞パターンが得られた。それを表 5 にまとめた。

表 4 違う品詞を持つ日中同形語¹⁴

日本語	記載品詞 ¹⁵	実際品詞 ¹⁶	中国語	記載品詞	実際品詞
安心	n v a	n v a	安心	a v	a v
以上	n j	n adv	以上	h	n
一切	n adv	n adv	一切	t	r
一般	n a	n	一般	n a t	a
永遠	a n	n	永远	adv	d
可能	n a	a	可能	n a t	v

¹¹ 本稿は日中同形語に焦点を当てるため、学習者の母語は中国語に限定する。よって、「作文コーパス」は 160 名の中国人の日本語学習者による作文を収録した。そのうち、「外国語が上手になる方法について」(103 名分) と「インターネット時代に新聞や雑誌は必要か」(57 名分) が収録された。

¹² 「外国語が上手になる方法について」は「自然言語処理の技術を利用したタグ付き学習者作文コーパスの開発」科研グループが収集したものである。

¹³ 「インターネット時代に新聞や雑誌は必要か」は東京外国語大学の伊集院郁子氏が収集したものである。

¹⁴ 表 1 では、名詞を「n」で表記する。動詞を「v」で表記する。形容詞と形容動詞を「a」で表記する。副詞を「adv」で表記する。助詞を「j」で表記する。方位詞を「h」で表記する。代名詞を「r」で表記する。その他の品詞を「t」で表記する。以下は同様。

¹⁵ 本稿は『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』に収録した日中同形語の品詞情報を「記載品詞」にまとめる。以下は同様。ただし、『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』の品詞記載が異なる場合、『中日同形語小辞典』に記載に従うことにする。

¹⁶ 本稿は「品詞の違い」に注目するため、「実際品詞」が同じと判断されたものを研究対象から外す。さらに、先行研究によると、一般的にはある品詞の使用頻度は全体使用頻度の 5% 未満の場合、品詞として認定しない。よって、本稿はその基準に従い、実際品詞を判断する。以下は同様。

科学	n	n	科学	n a	n a
開始	n	n v	开始	n v	v
完成	v	n v	完成	n v	v
基本	n	n	基本	a adv	a n adv
苦心	n v	n v	苦心	n a	n
結果	n adv	n adv	结果	n k	n
結局	n a	n adv	结局	n	n
結論	n v	n v	结论	n	n
健康	n a	n a	健康	ad	a
構造	n	n	构造	n v	n v
差別	n v	n v	差别	n	n
使用	v	n v	使用	n v	v
需要	n	n	需要	n v	n v
習慣	n	n	习惯	n v	n v
信用	n v	n v	信用	n	n
絶対	n adv	n adv	绝对	a	a adv
全部	n	n adv	全部	n adv	n
増加	n v	n v	增加	v	v
達成	n v	n v	达成	v	v
担当	n v	n v	担当	v	v
注意	n v	n v	注意	v	v
提出	n v	n v	提出	v	v
適当	a v	n v a	适当	a	a
電話	n v	n v	电话	n	n
努力	n v	n v	努力	n v a	v
特別	n a adv	a	特别	a adv	adv a
販売	n v	n v	贩卖	v	v
批評	v	n v	批评	n v	v
比較	v	n v	比较	v adv	adv
非常	n a	a	非常	a adv	v
変動	n v	n v	变动	v	v
友好	a	n	友好	n a	a

表5 違う品詞を持つ日中同形語 (パターン別)

番号	パターン		日中同形語 ¹⁷
	日本語	中国語	
1	n v a	a v	安心
2	n adv	n	以上 結果 結局 全部
3	n adv	r	一切
4	n	a	一般 友好
5	n	adv	永遠
6	a	v	可能 非常
7	n	n a	科学
8	n v	v	開始 完成 使用 増加 達成 担当

¹⁷ 表5では、日中同形語はすべて日本語の漢字で表記する。

			注意	提出	努力	販売	批評	変動
9	n	a n adv				基本		
10	n v	n	苦心	結論	差別	信用	電話	
11	n a	a			健康			
12	n	n v		構造	需要	習慣		
13	n adv	a adv			絶対			
14	n v a	a			適当			
15	a	adv a			特別			
16	n v	adv			比較			

3.5.2 結果の分析

「なたね」でパターン1の「安心」を調べた結果、以下の用例文が見つかった。

1. お金がなくても、安心¹⁸に研究できることがわかるから。わざと給料を多くあげないのでしょうか。(049__a) 「形容詞」¹⁹
2. お年寄りが安心して生活できる世の中にするためにも、全部かたかなでは無理です。(078__a) 「動詞」
3. 帰国して家族の安心感が得られたが、自分の国に帰ったって安全だとけっして言い切れない。(p33_a 非中国語母語話者) 「名詞」
4. 以上の方法は外国語を勉強する人にとって役に立つと思うが自分の状況によってもっといい方法を探したほうがいいだ。(CN314) 「名詞」

中国人の日本語学習者による用例文が3つ見つかった(そのうち、例1のような形容詞が1例で、例2のような動詞は2例である)。そして、「作文コーパス」を調べた結果、中国人の日本語学習者による用例文が2つ見つかった(2例は動詞である)。さらに、「なたね」で非中国語母語話者の作文を調べた結果、「安心」を名詞として使われる例3が見つかった。よって、中国人の日本語学習者が母語の品詞に影響され、母語に存在しない品詞の使用を避ける傾向のあることが見られる。さらに、「作文コーパス」でパターン2の「以上」について調べた結果、上級者でも名詞の「以上」しか使わない。副詞の「以上」の用例文は一つもないことが分かった。それは上級者の学習者も母語の品詞に影響されていると言えるだろう。パターン2、10、13、14の用例文を分析した結果、同じ傾向が見られる。

表5を見ると分かるように、パターン3、4、5、6、12、16は日本語の品詞は中国語の品詞と全く異なっている。「作文コーパス」を調べた結果、以下の用例文が見つかった。

5. この製品に関する紹介だし、専門家たちからの評論だし、似る製品の比較だし、単に一つのニュースなくて、色々知っています。(CG112 中級者) 「名詞」
6. インターネットと新聞などと比較すると、何となくつめたい感じがする。(CG139 中級者) 「動詞」

以上の用例文を見ると分かるように、中級者の学習者は「比較」の名詞と動詞の品詞を正しく使えるようになった。なぜ中級者は異なる品詞を持つ「比較」を正しく使用できる

¹⁸ 本稿では、キーワードとなる語彙に下線をつける。以下は同様。

¹⁹ 本稿では、筆者は学習者作文コーパスによる用例文の品詞認定を行った。

のか。これは中国人の日本語学習者は母語の品詞との違いに気づくからだと考えられる。

一方、「作文コーパス」で韓国人の日本語学習者の作文を検索した結果、上級者の学習者でも、名詞の「比較」を使わないことが分かった。よって、中国人の日本語学習者が母語から正の影響を受け、日本語は母語との違う品詞に気づき、正しく使用できる傾向のあることが見られる。

表5を見ると分かるように、パターン8の日本語が名詞または動詞で使われ、中国語が動詞で使われる日中同形語は他のパターンより圧倒的に多かった。熊、玉岡(2014)によると、パターン8のような日中同形語は「初級段階の中国人の日本語学習者にとっては難しいが、日本語能力が上がるにつれ、習得できるようになると予測される」ということが分かった。実際に、「作文コーパス」で「注意」を調べた結果、その中には以下の用例文が見つかった。

- 7.しかし、外国語が好きなら、平素でよく注意し、復述し、だんだんうまくなる。(CG035 初級者)「動詞」
- 8.もっといい方法を見つかることができるようこれからの日本語の勉強で注意を払うと思う。(CN308 中級者)「名詞」
- 9.注意しないと全くわからない場合もある。(CG025 中級者)「動詞」
- 10.しかし、外国語が好きなら、平素でよく注意し、復述し、だんだんうまくなる。(CG035 初級者)「動詞」

実際に、「作文コーパス」を調べた結果、初級者の作文は7例見つかった。7例は全部例7のように動詞として使われることが分かった。さらに、中級者の作文は9例見つかった。9例のうち、例9のように動詞として使われるのは8例で、例8のように名詞として使われるのは1例である。その傾向は熊、玉岡(2014)の予測と一致している。よって、パターン8の日中同形語の品詞の習得は初級段階の中国人の日本語学習者にとっては難しいが、日本語能力が上がるにつれ習得できる傾向が見られる。

表5を見ると分かるように、パターン11の日本語が名詞または形容詞で使われ、中国語が形容詞で使われる。実際に、「なたね」で「健康」を調べた結果、その中には以下の用例文が見つかった。

- 11.健康が一番だと両親に言われて、勉強をひとまずやめて帰国するしかないと彼女は言いました。(061__a)「名詞」
- 12.十分な家庭教育や子供との接することが出来ないため、子供の心身的に健康な成長ができるかどうか心配が増えかねない。(127__c)「形容詞」
- 13.大部分の高齢者は、健康に、幸せに、経済力の持つ生活を送ることができると思います。(159__a)「形容詞」

「なたね」で「健康」を調べた結果、全部で7例が見つかった。その中には、中国人の日本語学習者による用例文は例11~13のように名詞の1例と形容詞の2例があり、非中国語母語話者による用例文は形容詞の4例がある。なぜ中国人の日本語学習者だけは「健康」を名詞で使用するのか。これは母語から正の影響を受けるからだと考えられる。《・料・》で“健康”を調べた結果、形容詞の用例文は1112例があるのに対し、名詞の用例文は13例しかない。よって、中国人の日本語学習者は母語の品詞から正の影響を受け、パターン

11 の日中同形語を正しく使用できる傾向があると言えるだろう。

表 5 を見ると分かるように、パターン 9 の日本語が名詞で使われ、中国語が形容詞、名詞と副詞で使われる。実際に、「なたね」で「基本」を調べた結果、その中には以下の用例文が見つかった。

14.大量のロボットを使ったら、失業率がますます増えます。失職した人々は、生活の基本保証ができなくて、社会の不安定に導くに違いない。(043__a) 「形容詞」

15.これは基本的だが、文法のような書面のものにこだわりすぎる。(CG047)

『これは基本だが、文法のような書面のものにこだわりすぎる。』(添削後)²⁰ 「名詞」

以上の例 14 を見ると分かるように、中国人の日本語学習者は母語の品詞から影響を受け、日本語に存在しない形容詞の「基本」を過剰に使用する恐れがある。さらに、例 15 を見て中国人の日本語学習者は中国語“基本”の形容詞の品詞から影響を受け、日本語が名詞で使用すべきものに「的」をつける誤用のあることが分かった。よって、中国人の日本語学習者は母語の品詞から負の影響を受け、日本語に存在しない品詞を過剰に使用する傾向のあることが見られる。パターン 7、パターン 15 の用例文を分析した結果、同じ傾向が見られる。

4. まとめ

本稿は日中同形語の学習において、中国人日本語学習者は品詞性の違いにより、母語からどのような影響を受けるのかを明らかにするため、コーパスにより例文検索を行う。その結果、中国人日本語学習者は母語に影響され誤用を起こす可能性のあることが判明した。その具体的な結果は以下の通りである。

- 1.中国人の日本語学習者が母語の品詞に影響され、母語に存在しない品詞の使用を避ける傾向がある。さらに、上級者の学習者も母語の品詞に影響されている傾向がある。
- 2.中国人の日本語学習者が母語から正の影響を受け、日本語は母語との異なる品詞に気づき、正しく使用できる傾向がある。
- 3.日中同形語の品詞を習得する際に、初級段階の中国人の日本語学習者は難しいが、日本語能力が上がるにつれ習得できる傾向がある。
- 4.中国人の日本語学習者は母語の品詞から正の影響を受け、日中同形語を正しく使用できる傾向がある。
- 5.中国人の日本語学習者は母語の品詞から負の影響を受け、日本語に存在しない品詞を過剰に使用する傾向がある。

5. 今後の課題

今回の研究は課題がいくつか残っている。それを今後の課題として検討する。

1. 本稿は『中日同形語小辞典』と『日中常用同形語用法・作文辞典』が収録した 406 語の違う記載品詞を持つ日中同形語に絞り、検討をした、今後、さらに研究対象を増やすつもりである。そして、同じ記載品詞を持つ日中同形語にも視野に入れて検討するつもりである。
2. 今回の研究では、「作文コーパス」と「なたね」を使用し、中国人の日本語学習

²⁰ 本稿は日本語の誤用に対する添削を行ったものに、「(添削後)」で表記する。

者の作文実例を調べたが、今後、さらに中国人の日本語学習者の作文実例を増やし、検討していきたい。

今回の研究は今まで日中同形語の意味、持つイメージ、コロケーション、連語形式と同じく、日中同形語に関する基礎研究にすぎない。これからは、このような基礎研究を数多く実施することによって、中国人の日本語学習者の日中同形語の学習に貢献できればと願っている。

文 献

- 王燦娟 (2014) 「中国人日本語学習者に見られる日中同形語の誤用について:意味、品詞、共起の誤用をめぐって」『東アジア日本語教育・日本文化研究』、17号 pp.221-241
- 何龍 (2013) 「日中同形語の学習における母語の影響について:中国人の日本語学習者と日本人の中国語学習者を比較して」、修士論文
- 何龍 (2014) 「日中同形語の学習における母語の影響について:日本人の中国語学習者を対象として」『愛知淑徳大学論集グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇』、6号 pp.85-100、
(<http://aska-r.aasa.ac.jp/dspace/bitstream/10638/5526/1/0033-006-201406-085-100.pdf> よりダウンロード可能)
- 何龍 (2015) 「日中同形語の持つイメージ:「感染」を例として」『愛知淑徳大学論集グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇』、7号 pp.57-71、
(<http://aska-r.aasa.ac.jp/dspace/bitstream/10638/5681/4/0033-007-201503-057-071.pdf> よりダウンロード可能)
- 関西大学中国語教材研究会 (2011) 『中日同形語小辞典』、白帝社
- 熊可欣、玉岡賀津雄 (2014) 「日中同形二字漢字語の品詞性の対応関係に関する考察」『ことばの科学』、27号 pp.25-52
(<https://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~ktamaoka/scholarly/sadokunasi/2014/049.pdf> よりダウンロード可能)
- 侯仁鋒(1997) 「同形語の品詞の相違についての考察」『日本学研究』6号 pp.78-89.
- 曹櫻 (2009) 『日中常用同形語用法・作文辞典』、日本僑報社
- 張麟声(2008) 「中国語話者における日本語漢語語彙の習得について品詞性のずれに起因する習得の問題を中心に」、Linguistics of kango (Japanese words of Chinese origin), Friday 14th and Saturday 15th March 2008, Université Paris Diderot-Paris 7.
- 張麟声(2009) 「作文語彙に見られる母語の転移—中国語話者による漢語語彙の転移を中心に—」『日本語教育』、140号 pp.59-69
- 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語』、大蔵省印刷局

関連 URL

- 国立国語研究所 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 <http://chunagon.ninjal.ac.jp/>
- 中国教育部・言文字・用研究所 《・料・在・》 <http://www.cncorpus.org/index.aspx/>
- 東京工業大学留学生センター 『学習者作文コーパス「なたね」』
<https://hinoki-project.org/natane/>
- 「自然言語処理の技術を利用したタグ付き学習者作文コーパスの開発科研グループ」『日本語学習者作文コーパス』 <http://sakubun.jp.org/>